

日本パペットセラピー学会(JPTA)からのお知らせ

*主な記事

- ・地域活動紹介“パペットセラピーワークショップ in さいたま”
- ・第12回(2018年度)大会のお知らせ
- ・講習会のお知らせ 等
- ・地域活動助成金制度のご案内
- ・ホームページ URL/ (<http://www.j-pta.net/>)

2018年4月10日 JPTA事務局 〒158-0083 東京都世田谷区奥沢 8-10-7

メールアドレス info@j-pta.net FAX 03-3702-3097

平成30年度第1回ニュースレターをお届けいたします。今年度の大会のご案内や、講習会のご案内、また先年度末に行われました地域活動について報告させていただきます。会員の皆様とともに、日本パペットセラピー学会の発展を願って邁進していきたいと思っております。宜しくお願いたします。(副理事長：中下 富子)

☆ 日本パペットセラピー学会第12回(2018年度)大会のお知らせ ☆

会期：2018年(平成30年)10月14日(日) 午前10時～午後5時

会場：埼玉県総合医局機構 地域医療教育センター

(埼玉県さいたま市中央区新都心1-2 埼玉県立小児医療センター8階)

大会テーマ：子供たちを育むパペットセラピー

大会長：上原美子(埼玉県立大学)

副大会長：須賀綾子(高崎市国際交流協会日本語ボランティア) 白井美穂(埼玉大学非常勤講師)

大会参加申し込みご案内郵送：7月初旬



地域活動助成金制度のご案内

平成30年度もパペットセラピーに関する地域活動を助成いたします。助成金は一回につき1万円です。申請は30年度末までに随時受け付けておりますので、ホームページに掲載してあります新しい書式を作成の上、JPTA事務局まで添付送信をお願いいたします。

なお、JPTAの共催、協力、後援などのご希望は、その旨、事務局にご連絡下さい。

JPTA共催(後援・協力)の講習会のお知らせ

以下の活動は、いずれも平成30年度の地域活動助成金申請の対象となっております。ホームページお知らせ欄に、研修会などをご案内しておりますので、随時ご覧ください。

パペットセラピーワークショップ

共催：日本パペットセラピー学会

日時：平成31年3月上旬

会場：埼玉大学教育学部

(さいたま市桜区下大久保 255)

こどもの日のための腹話術とパペットショー

主催：パペットクラブ

後援：山梨県保育協会・甲府市教育委員会

日時：平成30年5月5日(土) 開場1時～

場所：山梨県立図書館2F 多目的ホール

(甲府市北口 2-8-1)

本学会のパペットセラピストが主催しており、
パペットの基本としての腹話術技術の向上に役立ちます。
是非ともご参加ください。



地域活動報告 “パペットセラピーワークショップ” in さいたま

パペットセラピーに関する地域活動助成金制度を活用して、“パペットセラピーワークショップ”を以下のよう
な日程で実施し、非会員、会員合わせて22名の方々にご参加いただきました。

また、参加者のうち、10名の方が学会ホームページの「お知らせ」欄をご覧になって参加されていました。

開催日時：2018年（平成30年）3月10日（土）10：00～15：00

会 場：埼玉大学教育学部

主 催：日本パペットセラピー学会会員

中下富子（埼玉大学）・上原美子（埼玉県立大学）・須賀綾子（高崎市日本語指導員）

参加費：500円（資料・パペット材料等を含む。）

プログラム：

10：00 自己紹介・オリエンテーション

10：10～11：00

パペットセラピーの理論：日本パペットセラピー学会理事長 原 美智子 氏

東日本大震災被災地におけるパペットセラピーを持った活動：

日本パペットセラピー学会理事 千葉 俊一 氏

11：00～12：00・12：40～14：00

パペットの作成 I：日本パペットセラピー学会編集委員 須賀 綾子 氏

パペットの作成 II：日本パペットセラピー学会編集委員 須賀 綾子 氏

14：00～14：45

初心者向け台本の作り方（高齢者向き対象）とその実演：

日本パペットセラピー学会名誉顧問 井澤 道夫 氏

14：45～15：00 閉会、アンケート記入等：

＜アンケート結果＞をご報告いたします。

- ・参加者は会員が3名、非会員18名、不明1名の合計22名でした。
- ・年代別では、20代が12名、40代が4名、50代2名、60代2名、不明2名でした。
- ・所属は、教育・研究機関が2名、福祉・事業所が3名、大学生・大学院生が13名、その他が3名等でした。
- ・ワークショップの内容では、「かなり良かった」と答えた人が19名、「まあよかった」と答えた人が3名でした。
- ・ワークショップの時間では、全員が「ちょうどよかった」と回答していました。
- ・ワークショップでためになった項目では、「パペットセラピーの理論や活動」22名で全員からの回答が得られ、次いで「パペットの作成」21名、「パペットセラピーの台本づくりや実演」13名でした。
- ・ワークショップの中でもっと内容を深く知りたいと思った項目についての質問では、「パペットセラピーに具体的な活動」と回答した人が14名と最も多く、次いで「パペットセラピーの技術」11名、「パペットセラピーの作成」10名、「パペットセラピーの理論」7名、「パペットセラピーの台本づくり」7名でした。
- ・パペットセラピーに取り組みたいと思いましたかという質問では、全員「はい」と回答していました。



次ページで、ご参加いただきました、皆様からの感想をお伝えいたします。

先日のパペットセラピーワークショップでは、たいへんお世話になりました。狭山市から、腹話術の生徒さん3名と一緒に4名での参加となりました。それぞれの現場経験の中で、普段から腹話術とセラピーとの関わりについて多いに感じるところがある方々で、私の講座の中でワークショップのことを紹介しましたところ、とても興味を持たれて、個人個人で参加申し込みをしました。研修内容は素晴らしく「参加できて良かった！パペットセラピーをもっと学び、実践に生かしたい」と狭山組み全員の感想です。学生さん達のパペットデザインの発想や思いにも、多いに刺激されたそうです。また、私の学びになったことのひとつに「パペット紹介はそのまま自己紹介になっている」という感覚を再確認したことです。最後に各自がパペットを紹介する時間、聞き手はパペットに注目しているのですが、その時、作者自身の個性と内面が自然に滲み出てきて、パペット紹介がいつの間にかユーモアを介した本人の自己紹介になっていて、話し手も聞き手も楽しい時間を共有していたと、後から気がつきました。

また、原先生のお話からパペットセラピーの「ダイアログの力」ということに注目することで、公演としての腹話術パフォーマンスの内容が深まる、という気づきもあったのは私にとって大きな収穫でした。「パペットセラピーの現場で、腹話術の技術が役に立つ」と同時に、「パペットセラピーの理論が、腹話術公演において、観客を真に感動させるものにする」その意味で、腹話術師たちもパペットセラピーに注目し、学ぶべきだと改めて思いました。

パペットセラピーの活動等を聞いてパペットは人の心を開かせることができるのだと驚きました。自分のパペットも作ったので、積極的に活用していきたいと思いました。家で練習します。ありがとうございました。顔と相談して名前を付けて可愛がりたいと思います。

パペットの活用や作成等今まで学ぶことができなかったのに、このような機会で見ることができ、また、自分だけのパペットを作ることができて、とてもよかったです。顔のパーツが少し違うだけでそのパペットの物雰囲気や印象がガラッと変わるため、作る時に一つ一つ考えながらすすめていくのがとても楽しかったです。今日作ったパペットを将来保健室で活用できたらなと思います。

今日は、パペットセラピーの話は初めて聞けてもっと色々なことを知りたいなと思いました。今日はお人形を作ることができ、このお人形で子ども達との会話をしていきたいと思います。私は保育士で、2才児クラスなのですが、会話をするとき目が出ないのが、パペットを通じて会話を楽しんでいきたいと今日のお話を聞いて感じました。ステキな時間をありがとうございました。

初めてイベントに参加させていただきましたが、とても学びの多い充実した時間となり本当に良かったです。理論や実践を少し学んだのち、自分もパペットづくりをできてとても楽しかったです。もともと、ぬいぐるみやパペットが大好きで私自身一人っだったのが初めての友だちがパペットでした。自分で作るとさらに愛着がわいて毎日一緒に遊べそうです。大学での学びの場はもう終わってしまったのですが今後ももっとパペットセラピーについて理解を深めて、誰かの笑顔を作れるような人になりたいと感じました。

パペットは笑いをとったり劇をしたり見せるものだと思っていたけど、自閉症の子たちとのコミュニケーション等、日常でも活用できるものだと知って、活用できるよう気持ちを込めてパペット作成に取り組みました。教育現場に携っている先生方や、今まで自分が関わった事のないような職業の方たちとお話しさせていただきながら一緒に作成できてとても楽しかったです。ありがとうございました。

お知らせ

1. 機関誌「パペットセラピー」第11巻は、今年度6月に郵送予定です。
もう少しお待ちくださいますようお願いいたします！

2. 今年度の「パペットセラピスト」の申請締め切りは、5月末日です！
5年以上会員履歴のある方は、奮ってご応募ください。
詳細は、ホームページの案内をご参照ください。



学会理事の交代についてお知らせいたします。

平成29年度末で、井澤 道夫理事、阿部 雅代理事・事務局長が退任されました。

お二人は、永年に渡り学会の柱となって貢献されましたので、顧問に就任されることになりました。本当に長い間ありがとうございました。

新たに、須藤 恵子、千葉 俊一、須賀 綾子の三氏が新理事に就任されました。

また、阿部 雅代事務局長が退任されましたが、後任の適任者が不在のため、業務は、引き続き阿部顧問が事務局の理事長補佐として行ってくださいます。なお、業務の後任者が決定するまでの間は、事務局長のポストは設けないこととなりました。

今年度も本学会の運営、発展におきまして、会員の皆様方のご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

ホームページについて

昨年度より、ホームページの一新をしております。

今までの「パペットセラピー」に関する体験・研究の蓄積以上に、これからは、アウトプットにも力を入れ、「パペットセラピー」をもっと多くの方々に知っていただき、パペットセラピー実践者を増やしていくことを目標にしています。

そのために、ホームページを基地として活用していきます。ホームページの運営において、Google等の検索エンジン対策は重要なこととなります。そこでその対策として、今回、サイト内のブログを新設いたしました。ブログのタイトルは、「Puppet Therapy Cafe」で、パペットセラピーに関することや、学会の情報などの記事を配信いたします。一般の方に、Cafeでゆったりしているような気分で、楽しみながら豆知識を得られるような内容の記事を書いていきます。

ホームページからより有益な情報を発信し、更新頻度も高めていきたいと思っております。会員皆様のご意見、ご要望を下記メールアドレス学会事務局まで、お寄せくださいますようお願いいたします。

お問い合わせ先：日本パペットセラピー学会事務局

info@j-pta.net

